

【再編に関する具体的なメリット・デメリット】

■鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるメリット・デメリット

	学習面	生活面	学校運営面	その他
メ リ ッ ト	●生徒一人ひとりに対し、理解度や学習進度に応じた<u>きめ細かな指導</u>を行うことができる。（１５件） ●少人数であるため、<u>学校行事等で活躍したり、自分の意見や考えを発信する機会</u>が多い。（３件） ●<u>施設や設備、教材や教具を生徒一人ひとりが十分に活用できる</u>。（２件）	●生徒同士、生徒と教職員との<u>人間関係が緊密</u>になり、コミュニケーションや個々に応じた指導に繋がる。（２０件）	●教職員数が少ないため、<u>意思疎通が図られやすい</u>。（６件） ●学校全体として<u>体験的な学習や校外学習を機動的に実施</u>することができる。（６件）	●<u>保護者や地域の方と連携</u>が図りやすく、地域と密着した学校運営ができる。（１０件） ●<u>災害時の避難場所</u>としての役割を担うことができる。（２件）
デ メ リ ッ ト	●<u>集団教育活動に制約</u>が生じ、多様な考え方に触れる機会や多様な学習形態を設ける機会が少ない。（７件） ●<u>配置される教員数が減り</u>、教科の専門教員の配置が難しくなる。（５件） ●<u>切磋琢磨する学習機会が少なく</u>、生徒全体の学習面での伸長が見られにくくなる。（４件） ●<u>部活動の選択肢が少なくなる</u>。（３件）	●クラス替えができないことにより<u>人間関係が固定化</u>する。（１１件） ●集団教育活動による<u>一体感や達成感を経験できにくい</u>。（４件） ●<u>部活動の選択肢が少なくなる</u>。（３件）	●教職員数の減少により、<u>バランスのとれた教職員配置や教科の専門教員を確保しにくい</u>。（４件） ●教科指導や校務分掌において、<u>教員一人当たりの負担が大きくなる</u>。（４件）	●ＰＴＡ活動において、<u>保護者一人当たりの負担が大きくなる</u>。（６件）

■鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるメリット・デメリット

	学習面	生活面	学校運営面	その他
メ リ ッ ト	●競争環境が生まれ、<u>切磋琢磨する機会</u>が増えることにより、学習への意欲が向上する。（9件） ●協働的な学習など<u>集団教育活動が行いやすくなり</u>、多様な学習形態で学習に取り組める。（8件） ●<u>教職員数が確保</u>され、バランスのとれた教職員配置や専門性を発揮した強化指導が可能となる。（6件） ●<u>より多様な部活動の設置が可能</u>となり、選択肢が増え、活動内容も充実する。（3件）	●生徒数が増えることで<u>人間関係が広がり</u>、多様な考えに触れ、社会性や協調性が育成される。（12件） ●<u>クラス替えが可能</u>となり、多様な人間関係を築くことができる。（5件） ●<u>部活動の選択肢が増え</u>、希望する部活動が経験できる。（2件）	●<u>各教科の免許を持つ教員を配置しやすく</u>、教員数が増えることにより教員一人当たりの負担が軽減される。（5件） ●<u>クラス替えができ</u>、友人が増えたり、人間関係に配慮した学級編成ができる。（3件） ●<u>部活動の選択肢が増え</u>、生徒が望む部活ができやすくなる。（3件）	●P T A活動における学校行事等の<u>保護者一人当たりの負担が小さくなる</u>。（4件） ●<u>鴨島町への地域理解や郷土愛</u>が育まれる。（2件） ●修学旅行等の活動に係る<u>生徒一人当たりの負担が小さくなる</u>。（2件）
デ メ リ ッ ト	●生徒一人ひとりに目が届きにくく、<u>きめ細かな指導が行いにくくなる</u>。（9件）	●<u>通学距離が長くなり</u>、安全面での不安や生徒・保護者の負担が増す。（8件） ●生徒一人ひとりに目が届きにくくなり、<u>個々に適した指導が図られにくくなる</u>。（4件）	●<u>通学距離の延長と通学路の安全確保</u>への対策が必要となる。（5件） ●<u>学校の施設や設備の利用時間等の調整が必要</u>となるため、増設や活用の工夫をしなければならない。（2件）	●<u>保護者や地域との連携</u>が図りにくい。（4件） ●統合後の<u>鴨島東中学校を有効活用</u>できるよう計画が必要である。（2件）

鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるメリット

■学習面

内容
少人数の中での教育により一人ひとりの理解に応じたきめ細やかな指導が図られ、個々に対応した学習指導の実践が図られる
一人ひとりに対応した授業を行うことができる
生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が期待できる
個別指導、補充指導が行いやすい
学校行事等での生徒一人ひとりの個別活動の機会を設定しやすい
児童生徒の状況が把握しやすく、個々に応じた指導が行いやすい
地域と連携した体験活動などの特色ある取組を展開しやすい
少人数であることで、個別の対応が取りやすく、個々に合わせた指導を受けることができる
補充指導や個別指導がやりやすい
人数が少ないので、生徒に教師の目が届きやすい。一人ひとりに対してきめ細かな指導に繋がる
個に応じた（もしくは個別指導）が比較的しやすい状況になり、学力保障を期待したい
少人数で学習しやすい
一人ひとりの学習進度に合わせることができる
丁寧な指導を期待できる
生徒一人ひとりに対し、きめ細かい指導を行うことができる
自分の意見を述べる場合が多い
施設・設備が余裕を持って使用できる
異学年との学習の場が多いため、他学年の活動の意識や態度を参考にしてより高い意識で学習活動に臨むことができる
少人数により、学校行事等で活躍する機会が増える
校外学習に行きやすい
一人ひとりが教材・教員を活用する場が多い
クラス替えがないことにより、信頼関係が構築されているクラスであれば安心して自分の考えを発言することができる
これまでの鴨島東中学校の文化が継承される

鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるデメリット

■学習面

内容
協働的な学習や課題解決学習等の学習が経験できにくい
上級生や下級生とのコミュニケーションが少なく、学習や進路指導の範となる先輩の数が少ない
クラス全体で学びあい、切磋琢磨する学習機会が持たせにくい
切磋琢磨する機会等が難しくなる
切磋琢磨する機会等が少なくなる
集団の中で、多様な考え方に触れる機会が少なくなりやすい
運動会や音楽会などの学校行事で大きな集団の活動が困難
体育科の球技、音楽科の合唱・合奏等の集団学習の実施に制約が生じる
生徒数が少ないため、多様な学習形態がとりにくい
音楽や体育等、集団での学習が必要な場面で、十分な学習が進められない側面がある
集団教育活動に制約が生じやすい
一部の生徒の考えに左右されやすく、多面的な考えが出にくい
発言力のある生徒の意見にクラス全体が左右されることになると発言がしづらくなり、対話的な学びが実現できにくい
競争が生まれにくいと、勉強ができる子はいるかもしれないが、生徒全体の学習面での大きな伸長が見られにくくなる
生きる力や人間力が育てられにくい
個人に対応していると全体として遅れが出る場合がある
多様な考えが少なくなり、考え方が偏ったり、発言がしにくくなったりして授業展開の範囲が狭くなってくる
学習進度が遅い生徒に合わせれば、全体の能力開発に支障が出かねない
部活動の設置が限定される
部活動の選択肢が少なく、活発な活動が展開できない
配置される教員の数が減るため、活動できる部活動の数も減る可能性がある
各教科を指導する教師陣を確保することが困難になり、高校入試を控えているだけに生徒の学力保障が気になる
先生数が少なく、担当の科目を複数持つようになってしまう
教員の人数が少ないため、教科によっては免許を持たない教員が臨時免許で授業に当たることも想定され、専門的な指導が難しい
教科の専門教員を確保しにくくなるため生徒の能力開発に支障が出ないか
教員が配置される数も減るので、各教科において、免許を有する教員の配置が難しくなる

鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるメリット

生活面	内容
	教職員と生徒との関係が緊密となり、個々に適した指導が図られる
	学校全体での人間関係が緊密でコミュニケーションがとりやすい
	個々に合った相談体制が図られ充実する
	一人ひとりに目が届くので指導が行いやすい
	先生との信頼関係が築きやすい
	教員と生徒の関係が深まりやすい
	生徒一人ひとりにきめ細かな指導が行いやすい
	人数が少ないので、生徒に教師の目が届きやすい。一人ひとりに対してきめ細かな指導に繋がる
	生徒一人ひとりに対し、きめ細かい指導を行うことができる
	生徒同士の関係が密になり、いじめ等の人間関係の発見が早くなる
	全教職員が生徒全員の名前や性格等を把握・理解することができ、きめ細かな生徒指導ができる
	一人ひとりの生活面でのちょっとした変化にも気づくことができやすい
	生徒相互の人間関係が深まりやすい
	人間関係が密になる
	異学年交流がしやすく、縦のつながりを生じやすい
	生徒同士の関係が密になり、いじめ等の人間関係の発見が早くなる
	クラス替えがないことで、級友を深く理解でき、お互いにフォローし合ったり認め合ったりして、信頼関係が結ばれ、強い人間関係も生まれる
	生徒同士の人間関係が深まりやすい
	小集団生活のため規律保持が行われ易い
	地域の中での知り合いが増え、人間関係が深まる
	企画・運営や挨拶など、学校や学年の代表として経験する場がある
	個人的な考えだけではなく、学校全体を意識した行動が身につけやすい
	のびのびできる
	異学年間の交流がしやすい
	異学年での学習の場が多いため、上・下学年とも触れ合う機会が多く、縦の人間関係のつながりが生まれやすい
	現状で通学路の安全が保障されている
	通学のストレスが少なく、学校や家庭での生活が充実しやすい
	これまでの鴨島東中学校の文化が継承される

鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるデメリット

生活面	内容
	生徒指導上課題がある生徒の問題行動によって全体が影響を受けやすい
	同じメンバーが長く続くので、お互いの刺激がなくなり、いろいろな成長が進みにくい
	人間関係が固定化される
	生徒一人ひとりの評価が固定化されやすい
	人間関係が狭まり、心の逃げ場がなくなってくる
	人間関係の固定化により、精神的に苦しくなる生徒が多くなることが考えられる。
	集団のよさである一体感を感じる事が難しい
	人間関係が固定化される可能性が出てくる
	人間関係の広がりがないことから、人間関係の固定化が考えられる
	切磋琢磨する機会等が少なくなる
	大人数の中での生活環境を経験する機会が少ない
	学校行事等による集団における教育効果下がるとともに一体感や達成感が経験できにくい
	体育祭や合唱コンクールなどで人数が揃わなく寂しい
	男女比の偏りが生じやすい
	小規模校ゆえの居心地の良さがあるとすれば、社会に出てからの試練に弱いかもしれない
	クラス替えができない
	クラス替えができない状況で人間関係や相互評価が固定化する
	クラス替えが困難なことから、人間関係や相互の評価が固定化される
	クラス替えができないことで、人間関係が固定化しやすい側面がある
	クラス替えがないことにより固定化した人間関係になりやすく、自分自身の生き方を変えようと挑戦したり、新たな友達作りをしようとしたりすることが難しい
	部活動の選択肢が限られ、個々の希望する活動が経験できにくい
	部活動、クラブ活動が限定される

鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるメリット

■学校運営面

内容
教員がきめ細かな指導ができる
空き教室の有効活用ができ、個別指導等のゆとりを持った教育活動が展開できる
これまでの伝統を活かし、個々の生徒に合わせたり、保護者のニーズに応えた学校運営がやりやすい
学校全体としての活動は行いやすく、調整しやすい
学校一丸となった学校行事や活動に対応した活動が効果的に実施できる
施設の利用の時間調整がしやすい
各学年での施設利用が柔軟に対応できる
体験的な学習や校外学習を機動的に実施することができる
調査や集計が短時間でできる
保護者や地域の把握、校区内の教育資源を活用しやすい
生徒一人ひとりを主役にし、活躍の場が増える
学校行事の小まわりが利く
校外学習において、施設等の収容人数による制限が少ないため、選択範囲が広がる
生徒も教師も人数が少ない分、伝達等にかかる時間が短く運営がスムーズに進めやすい
全教職員間の意思疎通が図られやすく、一体となった学校運営が期待できる
少人数だと運営しやすい
全ての教職員が学校全体の生徒の理解ができやすい
教職員数が少ないため、一人ひとりの意見が尊重されたり共通理解が図りやすかったりすることで、学校改善に取り組みやすい
教職員間の意思疎通が図りやすい
地域の協力が得られやすい
地域と密に連携することができる
家と学校が近いので、緊急時の対応がしやすい
災害等の緊急時において、生徒の安否確認がしやすいとともに、保護者への引き渡しがスムーズ
これまでの鴨島東中学校の文化が継承される

鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるデメリット

■学校運営面

内容
多数の参加者が望ましい行事はできにくい
教職員の減少によりバランスのとれた教職員配置や個々の教員の特性を生かした指導の充実が困難となる
教員の出張等で授業ができない場合、授業の組み替え等の調整が難しい
授業の組み替えが容易ではないため、教員が年休取得に躊躇してしまう
教科担当の教師の確保が難しくなる
教科の専門教員を確保しにくい
教師一人に占める仕事量が多くなり、過重な負担がかかる恐れがある
複数学年にわたる教科指導や校務分掌など、教師一人が担う負担が大きい
教員一人に対し、複数の校務分掌が割り当てられる
施設管理において、教員一人当たりの負担が増える
生徒一人当たりの経費が大きくなりやすい
修学旅行や遠足のバス代等が生徒一人当たりの価格が高くなる。
部活の種類が制限され、生徒一人ひとりにとってやりたい部活動に巡り合うかどうか？
部活動の選択肢が限られる
近隣の学校との合同チームも良いが、校区をまたいでの合同は？

鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるメリット

■その他

内容
保護者や地域の協力が得られやすい
P T A 活動では、意思疎通が図りやすく協力を得やすい
地域とともにある学校として、コミュニケーションが継続され、地域への愛情が深まる
地域密着の活動がしやすい
保護者や地域社会との連携が図りやすい
保護者や地域の方との連携が図りやすい
地域社会との連携が図りやすい
学校、生徒、保護者、地域との連携がとりやすく、地域と一体となる学校運営が期待できる
地域に根ざした教育活動が展開でき、以前実施していた廃品回収のように地域全体が協力的である
いわゆる地域と密着した中学校が存続できる
鴨島東部地区のコミュニティとしての場が保たれる
災害時の避難場所・拠点校としての役割ができる
緊急避難場所として利用しやすい
制服等の変更もなく、入学から卒業まで同じ学校に通うことができる
東中学校の伝統的な風土の中で安心して生活でき、意思統一も図りやすい
伝統的な東中学校区ののんびりした空気が維持できる
これまでの鴨島東中学校の文化が継承される

鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるデメリット

■その他

内容
井の中の蛙感が残ってしまう
学校運営にかか維持費（施設維持費・教員給与）が今後も継続する
施設の老朽化による事故等が懸念される
学校の環境整備等で現実には地域の負担が大きくなってきている
P T A 活動や学校行事等への保護者の負担が大きくなり、教育活動にも支障が出る
保護者数が減るので P T A 活動に制限が出やすい
保護者の負担額が大きくなる
P T A 活動における保護者一人当たりの負担が大きくなる
保護者一人当たりの P T A 活動等の負担が大きくなりやすい
P T A 活動の負担が増える
経費の面で、各家庭からの負担が大きくなる可能性が高くなる
地域に根ざした教育活動が展開できるが、職場体験などの受入先については、校区内と限定した場合、いろいろな職業の職場確保が難しい
男女比の偏りが生じる
市教育行政として学力や中学校生活全体を保証しなければならず、決断すべき時期に来ていると思料
統合されるまで、課題として検討し続けなければならない

鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるメリット

■学習面

内容
協働的な学習や課題解決学習が経験できる
体育・音楽などの活動が充実する
体育科の球技や音楽科の合唱・合奏など集団活動がしやすくなる
集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会が多くなる
班活動やグループ分けができ、多様な学習形態で学習に取り組める
運動会や音楽会などの学校行事で集団教育活動が期待でき、お互いを高め合う効果が期待できる
体育祭や文化祭等、行事が活発になる
多様な学習形態が可能になると考えられる
学習中に多方面から考えが出やすく、生徒の学習意欲の向上に繋がりがやすい
集団の力を肌で感じ、友達も増え、仲間と共に前進しようとする意欲の向上に繋がることが期待できる
学校行事等において、学級間で切磋琢磨することにより集団活動が活性化する
学力の保証もしやすい
クラスの中で切磋琢磨する学習機会が持てる
生きる力や人間力が育つ環境ができる
上級生・下級生とのコミュニケーションが多くなり、学習や進路指導の範となる先輩の人数が多くなる
競争意識が生まれ学習への意欲が向上する
生徒の多様な考え方に触れさせることができる
多様な意見や考え方に触れる機会が増える
複数学級が切磋琢磨する環境で学習に取り組みやすい
学級間の相互啓発がなされる
集団が大きくなるので、多様な人間関係の中で、様々な考え方に触れることができる
人数が増えることで、互いのよさを知り切磋琢磨して競い合い、学力を伸ばすことができる
切磋琢磨する環境ができて、みんなと学習できる
競争環境が生まれ、切磋琢磨が期待できる
切磋琢磨する機会が増える
優秀な生徒が模範となることで全体の底上げが図られる
クラス替えを契機にして意欲を新たに学習に取り組める
各教員の指導力を生かした学習指導の実践が図られる
教職員数が確保され、教科に応じて専門の教職員の教科指導を受けることができる
各教科の免許を持つ教員の配置がしやすいため、専門性を発揮した教科指導が期待できる
バランスの取れた教職員の配置が可能となる
各教科の教師が揃う
すべての教科において、それぞれの教科の免許を持った教員が配置されやすい
より多様な部活動の設置が期待できる
様々な種類の部活動の設置が可能となることから、選択の幅が広がる
部活動の選択肢が増え、活動内容も充実しやすい
地域が広がることで、学習資源（ものや人）が増える

鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるデメリット

■学習面

内容
個々の理解に応じたきめ細やかな学習指導の実践が図られにくくなる
先生の個別に対する時間が少なくなる
生徒一人ひとりに目が行き届きにくく、きめ細かな指導の面で不安がある
生徒一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな学習指導が行いにくい
生徒一人ひとりの実態把握がしにくくなる
生徒一人ひとりに目が届きにくくなる可能性がある
不登校や特別な支援を必要とする子どもへの対応が難しくなる
生徒と教員との距離ができることで、個々の生徒が質問等ができにくくなる
個に応じた（もしくは個別指導）がしづらくなる状況になり、きめ細かな指導につながるのか？
学習についていけない生徒が見逃されないか
学習に不熱心な生徒に引っ張られないか
授業への理解度の差が広がり、成績の格差が大きくなる
特別教室等の割り当てのために工夫を要する

鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるメリット

■生活面

内容
大人数の中での生活環境を経験する機会が多くなり成長が促される
学校行事等による集団における教育効果が上がるとともに、生徒一人ひとりに一体感や達成感を経験させることができる
部活動等で上下の交流が増える
新たな人間関係を築くことができる
生徒相互に切磋琢磨する機会が多くなる
切磋琢磨する機会が増える
人間関係が広がることで、多様な考えに触れ、認め合ったり協力しあったりして互いをより伸ばすことができる
友達の範囲が増え、同じ価値観を持ち安心して話せる友達ができやすい
生徒の友達関係が広がることで、視野も広がる
多様な意見に触れる機会が増える
多様な考えを持つ生徒たちとの生活により、社会性や協調性が育成される
多様性を認める環境が生まれる可能性あり
統一前より、多様性を認めることを肌で感じやすくなる
クラス替えが可能となる多様な人間関係を築くことが期待できる
クラス替えが可能となり、人間関係の構築や相互評価が広がる
クラス替えが可能、生徒間の交流が盛んになり、人間関係の幅が広がる
人間関係での生徒指導上の課題については、クラス編成を工夫することで解消が可能である
クラス替えが行われるため、人間関係が広がりやすい
生徒に関われる状況ができ、個々に適した指導ができる
相談できる教員の選択が広がる
教員一人当たりの校務分担が少なくなる
学年別や教科別の教員同士で生徒指導や学習指導等で相談、協力等がしやすくなる
部活動の選択肢が広がり、希望する活動が経験できる
部活の種類が確保され、生徒がやりたい部活の選択肢が増え、個が生かされやすくなる
通学距離が遠くなることで早起きを心掛け規則正しい生活を送ることができるようになる
遠距離を自転車通学することで体力増進につながる

鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるデメリット

■生活面

内容
教職員と生徒の関係や個々に適した指導が図られにくくなる
個々にあった相談体制の確立について懸念がある
先生の目が届きにくくなる
生徒一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな学習指導が行いにくい
一人ひとりの個性を重んじながら生活指導ができるか
大人数になると相互の人間関係で不十分な所が出てくる
新たな人間関係が築けるか心配である
異学年との交流が難しくなる
統合すると東中から来た生徒はどうしても弱い（肩身の狭い）立場になりやすいため、精神面での影響を心配する
少数意見を排除しないか心配
大勢の中で埋没して自分を見失う生徒が出てこないか
個々の活躍できる場を設けるのが難しくなる
通学距離が長くなり、生活面での不安が増す
通学距離が長くなり、通学路における安全が心配される。送迎となると保護者の負担が大きくなる
学校が遠くなると、不登校の生徒がより通いにくくなる
通学距離が長くなり、特に夏の暑い時期や冬の寒い時期には心配が大きくなる
通学距離が遠くなる子が増える
通学距離・時間のストレスが大きくなる生徒が多い
通学にかかる時間が多くなり低学年の生徒や身体が弱い生徒の負担が増え、授業に集中できないのではないか
通学距離が長くなる生徒がいる
全教職員の意思疎通が図りにくく、一体となった学校運営は小規模校ほど安易でない

鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるメリット

■学校運営面

内容
学校一丸となった学校行事等に対応した活動が効果的に実施できる
体育祭、文化祭、遠足、修学旅行など集団活動、行事などが活発にできる
体育祭や文化祭などの行事における活動の範囲が広がり教育効果を上げることができる
学校全体で取り組む教育活動全般に大人数を肌で感じ、大きな集団の良さを通して学校全体が盛りあがる
地域が拡大することにより、様々な分野で活躍する人材（地域の方々、卒業生など）に恵まれることから、外部講師などを依頼しやすくなる
その他の課外活動も活動範囲が広がる
複数学級で切磋琢磨する環境を作ることができる
複数のクラス編成により、生徒指導面においても人間関係を配慮した編成を行うことができる
教員同士が切磋琢磨する環境や指導技術の向上が図られ、生徒の学力向上につながる
先生が増え、専門の授業が行える
学校が直面する課題に対する組織的対応が可能となり、充実した教員研修につながる
各教科の免許を持つ教員を配置しやすく、複数配置が可能な教科も多いため、教員間で授業改善などＯＪＴの取組が期待できる
教科の専門教員を確保しやすくなる
教員同士が協力し合えば多少の問題も解決できる環境となる
教師一人が担う校務分掌の負担が軽減されることにより、働き方改革につながる
統一前より組織としての対応が構築できる
校務分掌等、業務の平準化が期待できる
クラス替えができ、人間関係に配慮した学級編成ができる
クラス替えが可能となり、友人が増える
東中学校区の子はクラス替えができる
部活動の選択の幅が広がる
人数が確保されることで、部活動の種類も多くなり、選択肢が増える
生徒が望む部活をできやすくなる

鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるデメリット

■学校運営面

内容
施設、設備の利用時間等で調整が必要となる
施設、設備の利用時間等の調整が行いにくい
教職員間の意思疎通が図りにくい
両中学校が取り組んできたスタンダード（授業、家庭学習、訪問等）の違いがあるため、教職員間で共通理解を図り早めに統一する必要がある
大人数の生徒保護者と対応する必要があり、小規模校より教員の負担が増えるかも
登下校への配慮が必要（スクールバスなどの対応を検討する必要がある）
通学距離が遠い生徒の通学時の安全確保が心配である
通学距離の延長及び通学路の安全確保への対応が必要となる
通学路の安全を考えた支援を行う必要がある
最初に通学支援を思い浮かべる。他にも東中に入学している生徒は一中に統合されると「制服」「体操服」「シューズ」等々で8万円以上必要となる。この保護者負担は大きい
学校施設の活用を工夫したり、増設したりする必要が出てくる
災害時においては、地域が広がるため、保護者への引き渡し等の混乱が生じる可能性がある

鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるメリット

■その他

内容
国内外で広く活躍できる人材を輩出するなら規模の大きさは大事
ただ、すべての生徒がそうなるわけではないので小規模校を全く排除するのではない
P T A 活動や学校行事等への保護者の負担が軽減され、教育活動に協力を得やすい
P T A 活動等における一人当たりの負担が小さくなる
P T A 活動等における保護者の負担が小さい
P T A などの負担が軽減される
P T A の人数が増えることで活動量が増える
P T A 活動やコミュニティスクール等、新しいコミュニティが生まれる
地域とともにある学校として鴨島町内を大きな視点から地域理解や愛着心が育てられる
鴨島町にある中学校が1校となることから、鴨島町への郷土愛や母校愛が強くなる
災害時の避難場所・拠点校としての役割を果たせる
学校運営にかかる維持費（施設維持費、教員給与等）が統合により削減できる
修学旅行等の一人当たりの費用負担が少なくてすむ
修学旅行や遠足のバス代等、生徒一人あたりの価格が安くなる可能性がある
東中の校舎や運動場を含めた施設設備を有効活用できる
メリット・デメリットというのではないが、統合するときは校地・校舎の再利用計画が示せば地域のランドマークが維持でき賛同も得られやすいのではないか
マンパワーが増えることで、生徒にとっても保護者にとってもできることが増えてくる
発達障害などへの対応に当たって専門的知見を持つ人材を配置しやすい
新しい環境で希望を持って生活をスタートできる

鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるデメリット

■その他

内容
P T A 活動や学校行事等への保護者同士の関係が希薄になり、教育活動にも支障がでる。
P T A の対象人数が増えるものの、無関心な人への対応も検討が必要
P T A 活動では、組織が大きくなることで意思疎通が回りづらくなる
通学路拡大による安全面が懸念されるため、地域・保護者・市の連携が不可欠である
地域社会との連携がとりにくい
保護者や地域社会との連携が回りにくい
地域とのつながりが希薄化する
地域の伝統文化の継承が課題となる
違った風土で生活してきた生徒と保護者の意思統一が必要である
途中で学校を代わる学年がでてくる。制服等を統一する必要があり、経済的負担が増える
災害時の避難場所・拠点校としての役割が継続できるよう計画が必要である
人数が増えることで、現在の鴨島一中の施設をそのまま使うと、窮屈感が生じる
鴨島東中が空き校舎となるのは、もったいない
地域の施設として有効活用できるよう計画が不可欠である。
統合後の学校規模、生徒数、学級数の推移が心配である
吉野川市として新しい中学校を作る体力はないと伺ったが、「望ましい教育環境の実現」に向けて、どんな支援を考えているのか？ ・通学支援 ・その他の支援
発達障害の児童数は2006年に7千人あまりだったのが2019年には7万人を超えたとされ、よりきめ細かな対応が生徒と保護者の両方に対して必要で、教員の負担は増加している
生徒数が増えれば発達障害を持つとされる生徒数も増えることが予想され教員の負担増が心配

■学級規模別の教職員の配置

1 教職員の配置

教職員の配置については、「学級規模別定員配当表」により、学級数に応じて教職員の配当数が定められており、これに加配教職員を加えた人数が総教職員数となる。

2 令和 6 年度の状況

区分		鴨島東中学校		鴨島第一中学校		統合した場合	
通常学級	1 年	3 7 人	1 学級	1 0 4 人	3 学級	1 4 1 人	4 学級
	2 年	2 8 人	1 学級	1 0 8 人	3 学級	1 3 6 人	4 学級
	3 年	4 1 人	2 学級	1 1 7 人	3 学級	1 5 8 人	4 学級
特別支援学級		2 学級		4 学級		4 学級	
計		6 学級		1 3 学級		1 6 学級	
教職員配当数※		1 1 人		2 1 人		2 5 人	

※「教職員配当数」は、令和 6 年度の学級規模別定員配当表に基づくものであり、通常学級について生徒数 4 0 人を基準に算定されている。

【統合となった場合との比較】

両校の現状と仮に統合となった場合を比較してみると、鴨島東中学校との比較では 1 0 学級増えることに対して教職員が 1 4 人増えることとなり、鴨島第一中学校との比較では 3 学級増えることに対して教職員が 4 人増えることとなる。

■鴨島東中学校において単学級が生じたことによる影響

- ・ クラス替えができないため、新しい人間関係が築けず、人間関係のトラブルが発生した場合解決が難しい。
- ・ 数学科においては、学力向上を目的に2つのグループに分け少人数で授業を行っている。
- ・ 体育祭においてクラス対抗ができないため、全学年紅組・白組に分け実施した。
- ・ 単純に学年配置の教員が減るため、生徒への個別対応が増え、教員の負担が増える。
- ・ 学習面においては、多様な考え方に触れる機会が減っている。

■部活動の現状について

(1) 鴨島東中学校

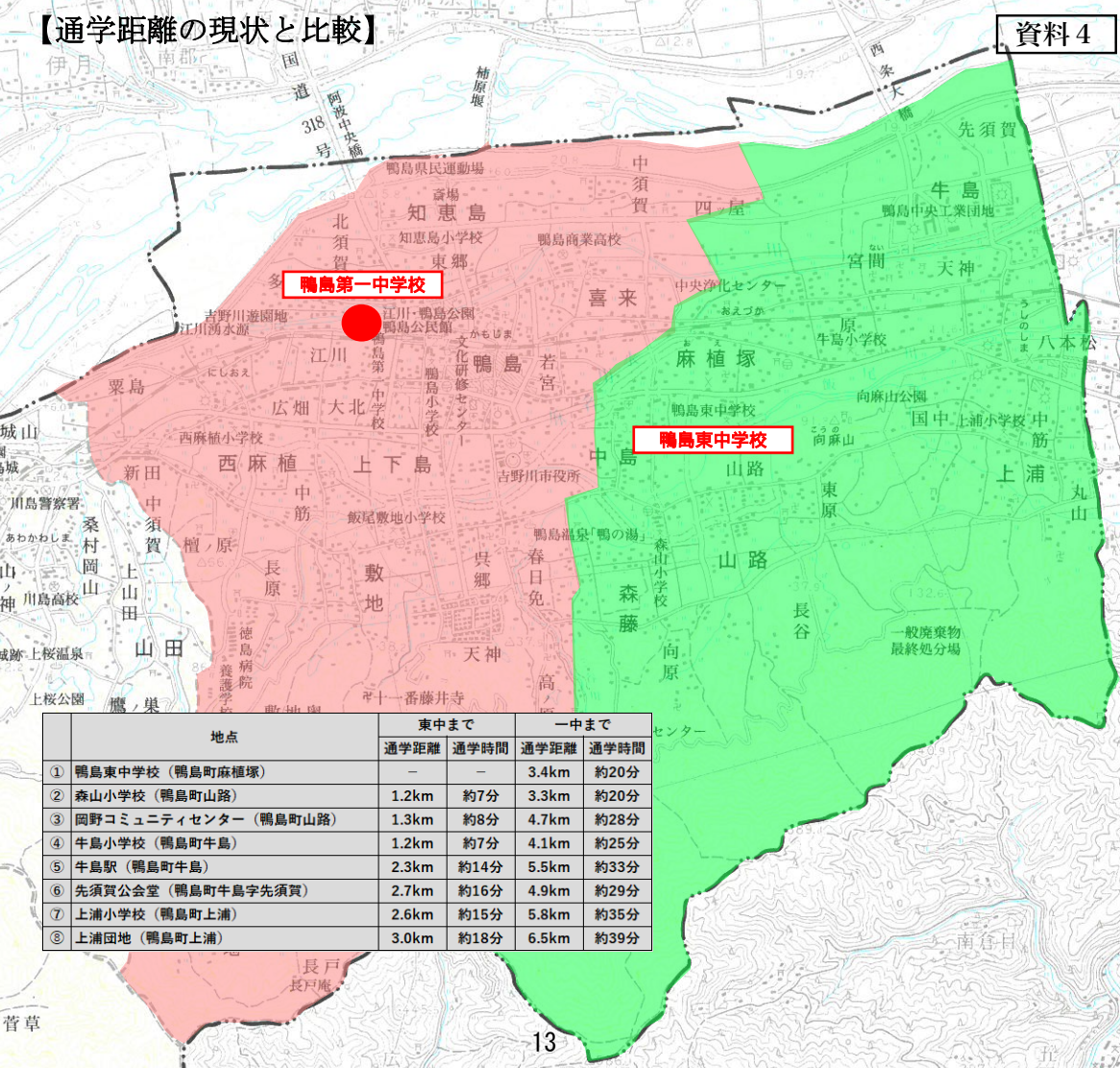
部活動名	人数		
	1年	2年	合計
軟式野球（他の中学校との合同チームの可能性あり）	4	0	4
サッカー（他の中学校との合同チーム）	4	3	7
ソフトテニス（男子）	6	4	10
ソフトテニス（女子）	5	0	5
バレーボール（女子）	3	4	7
バスケットボール（男子）	4	2	6
吹奏楽	5	6	11
芸術	6	1	7
合 計	37	20	57

(2) 鴨島第一中学校

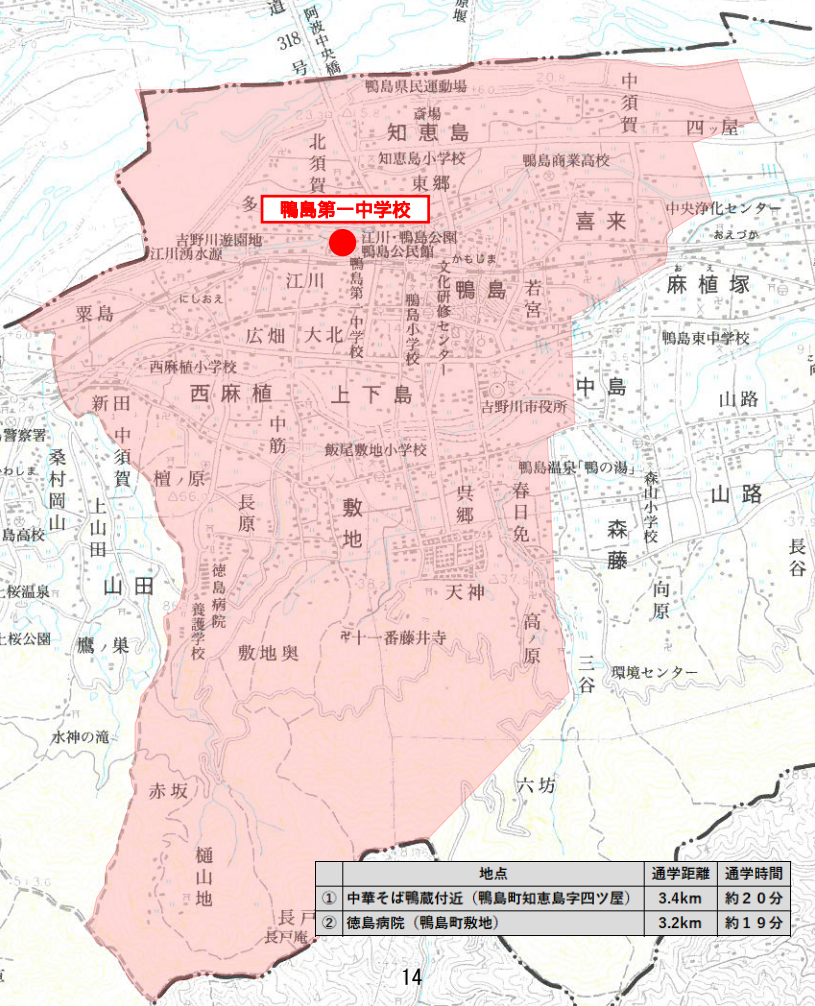
部活動名	人数		
	1年	2年	合計
軟式野球	5	8	13
サッカー	8	9	17
ソフトテニス（男子）	11	3	14
ソフトテニス（女子）	4	5	9
バレーボール（女子）	4	6	10
バスケットボール（男子）	3	7	10
ウインドオーケストラ	12	4	16
美術	19	13	32
陸上競技	16	10	26
バレーボール（男子）（拠点校方式）	2	1	3
バスケットボール（女子）	5	13	18
卓球（男子）	6	9	15
卓球（女子）	3	3	6
剣道（男子）	2	2	4
剣道（女子）	1	0	1
社会体育	5	13	18
ボランティア活動	0	0	0
合 計	106	106	212

【通学距離の現状と比較】

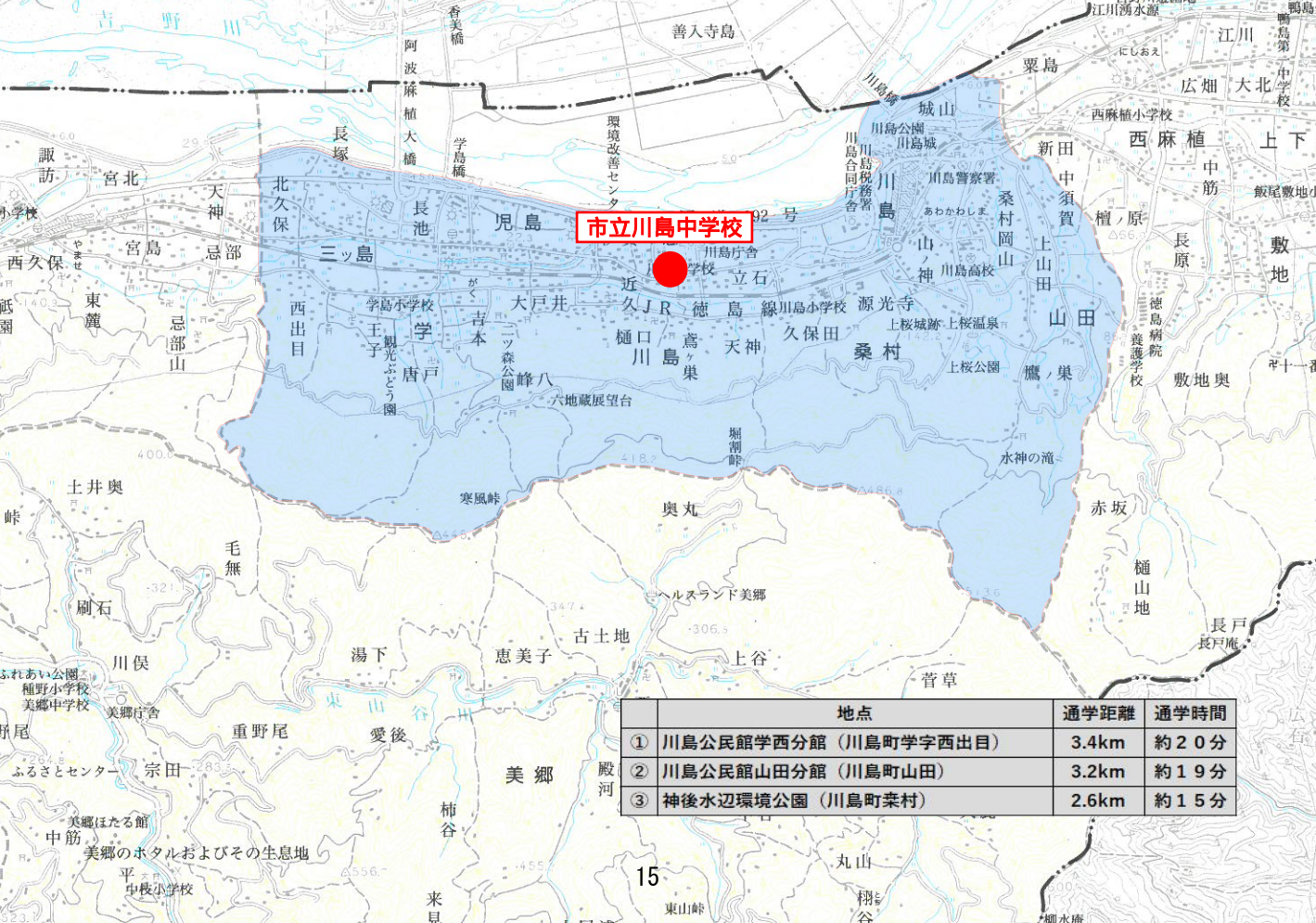
資料 4



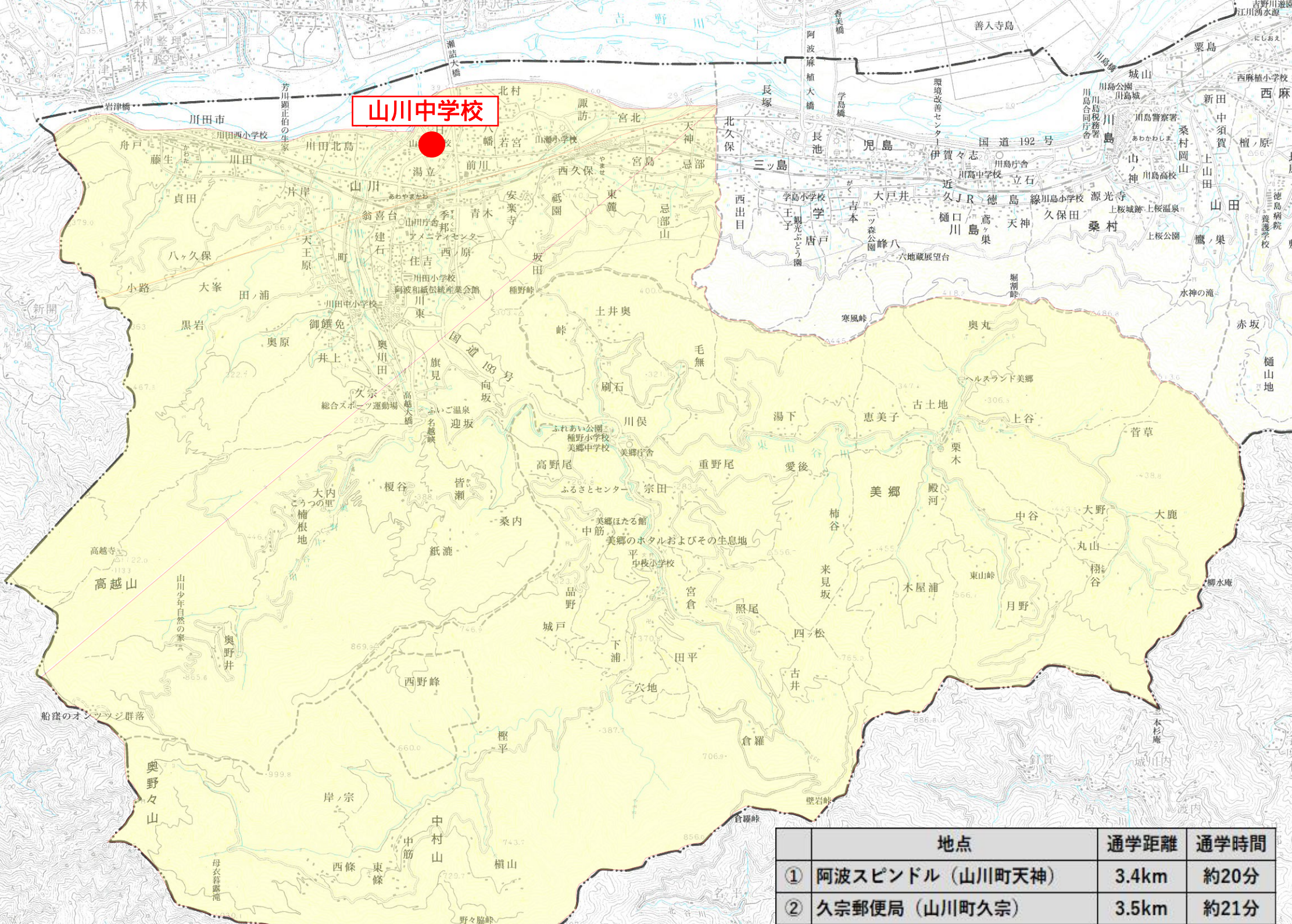
	地点	東中まで		一中まで	
		通学距離	通学時間	通学距離	通学時間
①	鴨島東中学校（鴨島町麻植塚）	—	—	3.4km	約20分
②	森山小学校（鴨島町山路）	1.2km	約7分	3.3km	約20分
③	岡野コミュニティセンター（鴨島町山路）	1.3km	約8分	4.7km	約28分
④	牛島小学校（鴨島町牛島）	1.2km	約7分	4.1km	約25分
⑤	牛島駅（鴨島町牛島）	2.3km	約14分	5.5km	約33分
⑥	先須賀公会堂（鴨島町牛島字先須賀）	2.7km	約16分	4.9km	約29分
⑦	上浦小学校（鴨島町上浦）	2.6km	約15分	5.8km	約35分
⑧	上浦団地（鴨島町上浦）	3.0km	約18分	6.5km	約39分



	地点	通学距離	通学時間
①	中華そば鴨蔵付近（鴨島町知恵島字四ツ屋）	3.4km	約20分
②	徳島病院（鴨島町敷地）	3.2km	約19分



	地点	通学距離	通学時間
①	川島公民館学西分館（川島町学西出目）	3.4km	約20分
②	川島公民館山田分館（川島町山田）	3.2km	約19分
③	神後水辺環境公園（川島町桑村）	2.6km	約15分



山川中学校

	地点	通学距離	通学時間
①	阿波スピンドル (山川町天神)	3.4km	約20分
②	久宗郵便局 (山川町久宗)	3.5km	約21分
③	岩津橋 (山川町一里塚)	3.7km	約22分